



神留守の雲ひとひらも見ぬ不安
 獣の仔眠るが如く枇杷の花
 断崖は海溝へ落つ蒼鷹
 数へ日の数へ時間の葬りあり
 枝折戸を押せば微かに冬の圧
 凍星や泣きたき時の深呼吸
 凧や列車の蛇腹圧縮す
 冬夕焼思ひ出はみな濾過されて
 白鳥日和といふべし海のやうな空
 木の橋のビスの均等すさまじき
 黒板に白墨の音雪が降る
 枯蓮田正午の鐘を沈ませて
 青空を巻き込みにけり鷹柱
 雨垂れは考へる音毛糸編む
 潜航を終へたる鳩に見ゆるもの

千田 百里
 辻 美奈子
 大沢美智子
 大畑 善昭
 高木 嘉久
 広海あぐり
 細川 洋子
 栗原 公子
 内山 花葉
 甲州 千草
 林 昭太郎
 頓所 友枝
 広渡 敬雄
 栗坪 和子
 稗田 寿明

立禅の相に入りたり霜の鶴
 また水に光の窪みかいつむり
 白きもの真白く乾く芭蕉の忌
 スクラムのテトラポッドや冬怒濤
 雪もよひ本に緋色の表紙裏
 暖炉より生まれし絵本作家かな
 凍裂の音を吸ひこむ櫛の森
 荒鷹の空を袈裟斬る急降下
 火の背後いまも狼の足音
 オーバーツーリズム櫂の掠鳥
 ジーンズの突つ張り乾く開戦日
 白鳥の一羽一羽に孤高あり
 朝霜を踏んで太極拳無音
 佗助の白こそよけれあまねき日
 籠に置く林檎挿絵のやうに在り

榎本 秀治
 須賀ゆかり
 村上 葉子
 鈴木 基之
 兵藤 恵
 小林 陽子
 木村 美翠
 澤田 英紀
 浜田はるみ
 福田 肇
 関根 瑤華
 池田 文枝
 川和 宏平
 平嶋 共代
 牛島 晃江

